

# 松任石川・つるぎ病院だより

全国の自治体病院に先駆けて  
医療・介護・福祉の連携を実現

平成27年  
新春  
特別号

白山石川医療企業団



公立松任石川中央病院



公立つるぎ病院

松任石川・つるぎ病院だより

白山石川医療企業団

基本理念

私たちは、みなさまの健康な生活を支えるために

- ・期待にこたえられる良質な医療に努めます
- ・安心・安全で信頼される医療に努めます
- ・切れ目のない包括的な医療に努めます



公立松任石川中央病院

TEL：(076) 275-2222 / FAX：(076) 274-5974

## 診療受付時間

午前 8時～11時30分  
午後 診療科によって異なります。  
詳しくはお問い合わせください。

※休診日 土・日・祝日／年末年始

※緊急の患者に関しては救急外来にて診察いたしております

URL：http://www.mattohp.jp

## 診療科目

消化器内科、循環器内科、腎高血圧内科、呼吸器内科、  
糖尿病内分泌内科、甲状腺診療科、神経科精神科、神経内科、  
ものわすれ科、小児科、外科、心臓血管外科、呼吸器外科、  
小児外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、形成外科、  
泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、  
リハビリテーション科、放射線科、放射線治療科、病理診断科、  
麻酔科、歯科口腔外科、総合健診センター、PETセンター



●住所 石川県白山市倉光三丁目8番地

●アクセス JR松任駅からバスが運行されています



公立つるぎ病院

TEL：(076) 272-1250 / FAX：(076) 272-3144

## 診療受付時間

午前 8時～11時45分  
午後 診療科によって異なります。  
詳しくはお問い合わせください。

※休診日 毎月第2・4土曜日、日・祝日／年末年始

※毎月第2・4土曜日以外の土曜日は、午前のみ診療

※緊急の患者に関しては救急外来にて診察いたしております

URL：http://www.tsurugihp.jp

## 診療科目

内科、糖尿病・内分泌内科、消化器内科、循環器内科、  
呼吸器内科、脂質代謝内科、腎臓内科、小児科、  
外科・胃腸科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、  
婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、  
リハビリテーション科、健診科



●住所 石川県白山市鶴来水戸町ノ1番地

●アクセス ・加賀産業道路「安養寺北」交差点より国道157号を白峰方向へ10分  
・北陸鉄道石川線 「鶴来駅」徒歩10分



吉野谷  
診療所

TEL：(076) 255-5019



中宮  
診療所

TEL：(076) 255-5019  
(吉野谷診療所内)



白峰  
診療所

TEL：(076) 259-8002



# いよいよ3月竣工 地域包括福祉支援センター おかりや



特集

## 全国の自治体病院に先駆けて 医療・介護・福祉の連携を実践

### 安心して暮らせる“まちづくり”へ

今回の第五次増改築工事のポイントは、大きく分けて2つあります。それは、①さまざまな機能を併せ持つ複合型福祉施設「おかりや」の増築、②リハビリ環境の効率化を目指したリハビリテーション棟の増築です。

病院に併設した「地域包括福祉支援センター おかりや」は、白山市の介護計画に基づく「地域密着型特別養護老人ホーム おかりや」（ユニット型特別養護老人ホーム／定員29人）のほか、野々市市・川北町も参画する「サービス付き高齢者向け住宅 おかりや」（定員56人）と「ショートステイ おかりや」（短期入所生活介護施設／定員21人）を併せ持つ、複合型の福祉施設となります。

特別養護老人ホームでは、入所者一



1階エントランスにはゆったりとしたソファのほか、絵画や花を配置。落ち着いた空間となります

松任石川・つるぎ病院だより

## トップメッセージ 年頭のご挨拶



白山石川医療企業団  
企業長 久保田 幸次

明けましておめでとうございます。謹んで、新春のお慶びを申し上げます。

白山石川医療企業団は、本年も皆様の健康な生活を支えるため、公立松任石川中央病院と公立つるぎ病院の二つの病院が、それぞれの役割を果たし、互いに連携して地域の医療を守るよう努めます。

これまで公立松任石川中央病院は、高度の医療設備と手厚い職員の配置を行い、急性期・救急医療と高度医療の推進に力を入れ、地域の医療を支援する病院としての役割を担ってきました。一方、公立つるぎ病院は、一般急性期から回復期・療養医療に力を入れ、リハビ

リテーションと在宅医療の充実に取り組んできました。

今春、公立松任石川中央病院に併設して「地域包括福祉支援センター おかりや」が竣工いたします。また、その後には病院内に患者用図書室、交流サロン、レストランなどアメニティの充実と手術室の拡張を予定しています。公立つるぎ病院においては、昨秋より地域包括ケア病棟54床を新設しています。これは、入院治療後の病状が安定した患者さんに、リハビリや退院支援など効率的かつ密度の高い医療を提供するため、厳しい施設基準をクリアし、国から許可を受けた在宅復帰支援のための病棟です。

白山石川医療企業団は、これからも地域の医療機関、保健・福祉・介護施設との連携を密にして、皆様が住み慣れた地域で、安心して暮らせる「まちづくり」に貢献したいと思っています。

本年も、皆様のより一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。



公立松任石川中央病院  
病院長 ト部 健

明けましておめでとうございます。皆様にとって幸多き本年となりますよう心から御祈念申し上げます。

日本は未曾有の高齢化社会を迎え、これに伴い地方の元気がなくなっているようです。この状況に対し「地方創生」が盛んに叫ばれ、さまざまな



公立つるぎ病院  
病院長 杉本 尚樹

新年を迎えまして皆様にとって幸多き年になりますよう御祈念申し上げます。当院では「住まい、医療、介護、予

視点から地方を活性化しようとの試みがなされています。地域住民が住み慣れ親しんだ地域で、元気に暮らすためには医療・福祉の充実が必須の社会基盤です。

当院は急性期・救急医療と高度医療および健診事業を担い、その提供体制をさらに強固なものへと整えてまいります。今後も地域医療支援病院として本地域の医療・福祉・介護関連機関の皆様と密に連携しながら職員一同最善、最良の医療に努め、明るく元氣な住みよい「まちづくり」「地域創生」に貢献したいと思っております。本年も皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

防、生活支援が日常生活の場で一体となつて提供できるシステム（地域包括ケアシステム）づくり」に一貫して努力してまいりました。昨年10月には地域包括ケア病棟（54床）を開設し、地域医療や在宅医療の体制強化を図りました。今後も行政、医療、介護関係の皆様との連携を強化し、白山石川医療企業団の一員として公立松任石川中央病院、吉野谷・中宮・白峰診療所とともに役割を確立していきたいと考えていますので、ご支援をよろしくお願い申し上げます。



## 企業団連携医療機関一覧

|                  |                |
|------------------|----------------|
| 浅井小児科医院          | 千代野苑           |
| あさがおクリニック        | つじ川内科クリニック     |
| 有川整形外科医院         | 津田内科医院         |
| 池田病院             | 津山クリニック        |
| いこまともみレディースクリニック | てらしま内科クリニック    |
| いのくち内科医院         | とみたクリニック       |
| 今村耳鼻咽喉科医院        | 長尾医院           |
| 井村内科医院           | ながしまクリニック      |
| ういえ耳鼻咽喉科クリニック    | 中島内科医院         |
| うえの整形外科          | なかでクリニック       |
| うしむら眼科クリニック      | 中村皮フ科クリニック     |
| 大倉外科医院           | なごみ苑           |
| 岡村内科医院           | なんぶこども医院       |
| 御経塚クリニック         | にしかわクリニック      |
| 織田内科クリニック        | 野々市こころのクリニック   |
| 小野木医院            | ののいち産婦人科クリニック  |
| 金沢脳神経外科病院        | ののいち白山醫院       |
| かわい小児科医院         | 野々市よこみやクリニック   |
| 川北温泉クリニック        | はしもと内科クリニック    |
| 川北こどもクリニック       | ばんどう内科診療所      |
| かわきた整形外科醫院       | 深江レディースクリニック   |
| 河内うらた医院          | 福留クリニック        |
| 喜多内科医院           | 船木病院           |
| 北村内科医院           | ふるさわ内科クリニック    |
| 恵愛会 松南病院         | べんクリニック        |
| 斉藤小児科医院          | ほりかわクリニック      |
| さかえ内科クリニック       | 松任整形外科クリニック    |
| 真田医院             | 松葉外科胃腸科クリニック   |
| さなだクリニック         | 南ヶ丘病院          |
| サン問屋町クリニック       | みやうち眼科         |
| しおのやクリニック        | 三幸小児科医院        |
| 嶋医院              | むとう小児科医院       |
| 下崎整形外科医院         | 森 明弘クリニック      |
| しらお眼科            | 矢ヶ崎外科医院        |
| 新内科医院            | 安原医院           |
| 新村病院             | やなぎ内科クリニック     |
| すえよし整形外科クリニック    | やまかわ内科クリニック    |
| せいだクリニック         | やまぎしレディースクリニック |
| 聖来美クリニック         | 山本クリニック        |
| だいもん内科・腎透析クリニック  | やまもと内科医院       |
| 多賀クリニック          | 吉光内科医院         |
| 高田内科クリニック        | 米田内科医院         |
| たけお皮膚科クリニック      | わかば内科クリニック     |
| ただなわ整形外科クリニック    | わかばやし眼科クリニック   |
| 谷内科歯科クリニック       | 渡辺耳鼻咽喉科医院      |
| ちくだ医院            |                |

(50音順)

## 施設の特長

## 1. 安心の病院併設型

公立松任石川中央病院に併設しているので、必要に応じて医療・介護一体型のサービスを受けることができます。

## 2. 質の高いサービスの提供

充分な人員を配置したうえ、スタッフは日々研修を重ねているので、質の高いサービスを受けることができます。

## 3. 自然を眺望できる環境

フロアからは日本海や白山連峰を一望でき、雄大な景色や四季の移ろいを楽しめます。

●短期間入所するショートステイも行っています。



“和”の空間を意識した特別養護老人ホームの居室。快適な療養生活をサポートします

川医療企業団の構成施設である公立つるぎ病院や吉野谷・中宮・白峰診療所、加えて近隣の医療機関や介護施設と連携を結ぶことで、一体型のサービスはより充実したサービスに発展します。国が目指す地域包括ケアシステムが誕生するのです。

さらには、この第五次増改築工事と連動するかたちで、病院に隣接した東側の敷地に、金城大学看護学部を誘致しました。これは、近年深刻化している看護師不足の解消を目指し、地域における看護師の安定した就業環境の整

備を進める狙いがあります。実習の受け入れや学習用機材の共同利用も展開することで、質の高い授業を実現。即戦力となる看護師を地域に輩出していきます。

約800万人の団塊の世代が75歳を迎える、いわゆる「2025年問題」に向け、当企業団ではこれからも地域包括ケアシステムの構築に力を注ぎ、地域住民のみなさんが安心して暮らすことのできる「まちづくり」に貢献してまいります。

## 福祉施設棟「地域包括福祉支援センター おかりや」併設の狙いは地域の介護資源不足の補填

では、何故このような福祉施設棟を病院の敷地内に増築したのでしょうか。それは一つに、地域において介護資源が不足していることが挙げられます。例えば、白山市と小松市を比較して検証してみます。白山市の人口は10・9万人、小松市は10・6万人とほぼ同数です。それに対し、特別養護老人ホームの入所定員数は白山市の649人に対し、小松市は770人と、割合からみても白山市の方が介護を必要とする高齢者向け施設の整備の遅れ

人ひとりの尊厳を守り、個々の自立を尊重するため、少人数のユニット（生活単位）に区分け。1ユニットごとに専用の居住空間と専任職員を配置し、きめ細やかなサービスを提供できる仕組みにしています。

サービス付き高齢者向け住宅は、全室に32インチの液晶テレビを完備。最上階の6階には入居者専用の展望大浴場とレストランもあり、くつろぎの空間が広がっています。

1階にはコンビニエンスストアがテナントとして入り、通常のコンビニ商品に加え、着替えや紙オムツなどの生活必需品も販売。「おかりや」全体がより一層利便性の高い生活の拠点となるよう機能を高めています。

## 地域包括ケアシステムの構築による安心して暮らせる「まちづくり」

この福祉施設棟とリハビリテーション棟の増築により、公立松任石川中央病院の敷地内に、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体化したサービス提供体制が完成します。また、白山石

が顕著であることがわかります（平成26年11月1日現在）。それに関連して挙げられる理由として、地域住民のみなさんにとつての利便性の向上があります。みなさんが疾病を抱えた場合、医療機関で治療を受け、必要に応じて病院へ入院、または介護施設などに入所していたと思います。しかし、病院などの空き状況によっては遠方の施設に入らざるを得ず、住み慣れた町から離れる孤独感をひしひしと感じた方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。そのような不便さを解消し、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、福祉施設棟の増築に踏み切ったのです。

もう一つの特長であるリハビリテーション棟の増築は、病院の北側で進めています。今まで別の場所にあったリハビリテーション室と心臓リハビリテーション室を1箇所に集約。これにより、リハビリ環境の効率化が進み、身体機能の維持・回復を従来以上に推し進めることが可能です。また、早期の社会復帰も実現するようになります。



居室は什器備品を含め、木目調で統一。心安らぐ空間が広がっています



ラウンジは、入居者同士やご家族の方との触れ合いの場としてご活用いただけます



屋外の庭園が臨め、リフレッシュできるサービス付き高齢者向け住宅専用の展望大浴場



サービス付き高齢者向け住宅専用の展望レストラン。眺めの良い空間のもと、毎日の食事を楽しめ



みなさまの健康な生活を支えるために①

# 公立松任石川中央病院の挑戦

地域医療支援病院として、また災害拠点病院として地域のかかりつけ医と連携を密に図りつつ、地域完結型の医療を実践している公立松任石川中央病院。国が目指す地域包括ケアシステムの実現に向け、第五次増改築工事に着手。医療・介護・福祉が一体化した「まちづくり」を進めています。それらの取り組みについてご紹介します。



最先端の PET/CT を2台有し、がんの早期発見に役立っています



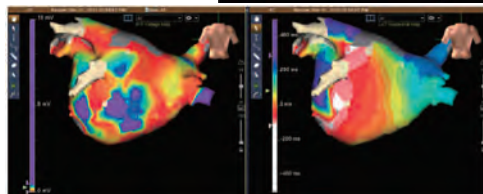
高性能マルチスライス CT で撮影した画像は3D映像で確認でき、医療の質向上にも貢献しています



多職種によるチーム医療をモットーに、患者さんの早期退院を目指しています



不整脈診断及び治療をおこなう「エンサイト ペロシティシステム」を導入。不整脈発生の仕組みを立体的に捉え、より効率的かつ正確に診断・治療をおこないます



高性能血管造影装置を配備。心臓カテーテル治療は北陸でトップクラスの実績があります



再診受付機をはじめとする外来受付システムは、待ち時間短縮に効果を発揮しています



医師や看護師をはじめ、多職種で構成するDMAT（災害派遣医療チーム）。実際に被災地へ駆けつけた経験を活かし、有事に備えています



新たに禁煙相談を開始。喫煙から卒業する「卒煙」について助言します



皮膚・排泄ケア、がん化学療法看護などの認定看護師が多数在籍。専門的なアドバイスをおこないます



スタッフ同士のコミュニケーションを大切に、快適な療養生活をサポートしています



電子カルテシステムは、平成16年の導入以降、機能強化を繰り返しており、安心・安全の医療を支えています



質の高い医療を保つため、院内では随時研修を実施。スキルアップに努めています



総合健診センターでは病気を予防して健康を維持することを追求しています

## 第五次増改築工事の狙いは 地域包括ケアシステムの構築

当院は、地域の中核病院としての役割を果たすため、院内改革に取り組み続けています。この一環として進めているのが第五次増改築工事であり、今年3月に竣工を迎えます（※詳細は3～5頁の特集をご参照ください）。

今回の増改築工事では、ユニット型の特別養護老人ホームをはじめ、サービス付き高齢者向け住宅やショートステイなどの機能を併せ持つ、「地域包括福祉支援センター おかりや」の増築と、リハビリ環境の効率化を目指したリハビリテーション棟の増築を行っていることが特長として挙げられます。

この工事が竣工すると、国の目指す地域包括ケアシステムが一つの完成型を迎え、みなさんが住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる環境が整うことになります。

このほか、従来から手がけているがんや脳卒中、心筋梗塞などをはじめとする「5疾病」、救急や災害、小児などの「5事業」すべてに対応する体制整備も断続的に実施。なかでも、がん治療に関しては、最先端のPET/CT2台とPET1台を配備。放射線治療装置LINACと併せ、がんの早期発見から治療、外来化学療法までの一貫した診療体制を整えています。加えて、がんに対する不安や悩みの相談を受け付ける、がん相談支援センターも設置。石川県地域がん診療連携推進病院としての使命を全うする体制を整えています。

また、院内には皮膚・排泄ケア、緩和ケア、がん化学療法看護、感染管理、透析看護および精神科看護の認定看護師が在籍。それぞれの専門の立場から助言を行う外来看護相談室のサービスも開始しました。

一方、MRIやCTなどの高度医療機器は、地域のかかりつけ医に開放して共同利用を推進。医療資源を有効活用しつつ、地元医療機関との連携を密に図ることと、遠方まで足を運ぶことなく、住み慣れた地域で治療を終えることができる「地域完結型」の医療への道を歩んでいるところです。

## 独自のネットワークシステムの構築とクラウド化による安全性の追求

当院が整備してきたこれらの医療資源やノウハウをより効果的に運用する、独自のネットワークシステムもあります。

他の医療機関と電子カルテ情報を共有する「まっとう連携くん」は、検査予約から結果照会などの情報を一元管理。検査結果の確認や、退院後にかかりつけ医で診療を受ける際、過去の病歴や症状の変化を検索できるため、効果的な診療が行えます。また、院内サーバに保管している膨大な医療情報は、バックアップの安全性と堅牢性を高めるため外部保管。非常時や災害時にも対応可能で、医療機関としては新しい取り組みとして注目されています。

今後も地域住民が安心して暮らせる「まちづくり」に取り組んでいきます。



みなさまの健康な生活を支えるために②

# 公立つるぎ病院の挑戦

公立つるぎ病院は近年、入院患者さんが早期退院できる環境を整備してきました。その一環として昨年、地域包括ケア病棟を設置。在宅復帰に向けた治療やリハビリを強化しつつ、退院後も安心して生活できる体制が整いました。また、外来改修工事を行い、患者さんがより快適に過ごせる空間づくりに努めています。その取り組みについてご紹介します。

患者さん一人ひとりの状態に合わせて、思いやりと真心の医療に努めています



多職種が連携し、在宅や介護施設への復帰に向けて、治療や支援を提供します



発声練習も嚥下機能回復の一環。言語聴覚室で一人ひとりに合ったリハビリをおこないます



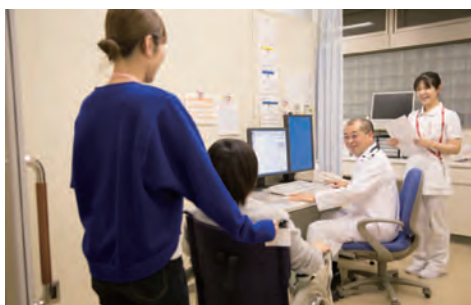
日常生活動作（ADL）向上のため、言語聴覚士や管理栄養士などによる嚥下機能のリハビリも展開しています



在宅復帰を見据え、ご自宅に近い形でのリハビリをおこなっています



医療・福祉相談室では医療ソーシャルワーカーが、医療・福祉に関する相談をお伺いします



診察室が広くなり、車イスの方にもご利用しやすくなりました



医療コンシェルジュが、最高の接遇で初めて来院される方も安心して受診できるよう対応します



入退院支援室では担当者が外部の施設と連絡を取り合うなどし、転院・入院のお手伝いをします



在宅療養支援部（在宅医療・介護連携支援センター）の職員が、安心して暮らせる地域づくりを目指し、さまざまな取り組みをおこなっています



初診・再診・入院の受付を集約し、受付機能の充実を図りました



## 急性期と在宅との架け橋役を担う地域包括ケア病棟を新設

昨年10月、当院は地域包括ケア病棟を設置しました。これは、厚生労働省が新設した、急性期後の医療と在宅医療との間の橋渡し役を担う病棟です。急性期（術後や早期治療が必要な時期）を終え、症状が安定した患者さんに対し、在宅や介護施設への復帰に向けた医療や支援を行うことが求められています。

この病棟の役割は大きく分けて3つあります。それは①急性期病棟からの受け入れ、②在宅復帰への支援、③在宅や介護施設からの緊急時の受け入れです。

一般病棟へ入院中に症状が安定すると、早期退院が求められます。しかし、在宅での療養生活に不安があり、もう少しの入院治療で改善が見込まれる方のために、入退院支援室と相談の上、地域包括ケア病棟に転棟。在宅復帰に向けた治療やリハビリをおこないます。

一方、退院後に在宅や介護施設で療養生活を送る方で、症状の急変などで入院が必要となった場合、主治医から依頼を受け、この病棟が利用されることになります。

地域包括ケア病棟では、理学療法士などのセラピストの専属配置とリハビリテーションの義務づけが定められています。当院では従来よりリハビリ環境の充実を目指して、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士などを多数配置しており、リハビリ提供体制には定評があり安心です。

また、入院中は医師や看護師をはじめ、介護スタッフやリハビリスタッフ、薬剤師、管理栄養士、医療ソーシャルワーカーなどの多職種が連携を図り、患者さんの心身の回復と在宅復帰に向けた治療・支援をおこなっています。

国は今後の医療提供体制を、病院や施設から在宅へという方針を打ち出しています。そのような中、在宅との架け橋役を担う地域包括ケア病棟を持つ当院の位置づけは、より一層重要になってくることが予想されます。

## 患者さんとの顔の見える関係づくりのため外来改修工事を実施

このほか、昨年末に外来の改修工事をおこないました。まず、総合受付カウンターを新設し、「はじめての方」「再来の方」「紹介・入院の方」に分けて受付をおこなうよう変更。外来フロアには医療コンシェルジュが常駐し、適切できめ細やかな対応を展開しています。

また、相談支援室を新設し、院内医療メディアエーターが困りごと相談を受け付けています。同じく新設した医療・福祉相談室では、在宅療養支援部の担当スタッフが入退院や在宅復帰などの相談に応じています。さらには内科外来診察室を拡張し、快適に診療を受ける環境を整えました。

当院では今後も、みなさんに愛される病院づくりに努めてまいります。



# 病院から施設、施設から在宅へ

～住み慣れた地域で安心して暮らせる“まちづくり”～

白山石川 医療企業団

金城大学  
看護学部

地域医療支援病院  
地域がん診療連携推進病院

松任石川中央病院  
オープン(開放型)病床  
地域包括福祉支援センター  
おかりや

へき地医療拠点病院  
在宅療養支援病院

つるぎ病院  
地域包括ケア病棟

近隣医療機関

保健所

薬局

ケアマネジャー

住まい  
自宅/  
サービス付き 高齢者向け住宅

訪問介護

へき地診療

吉野谷診療所  
中宮診療所  
白峰診療所

地域包括  
支援センター

複合型サービス  
事業所

訪問看護  
ステーション

